

第1表(教)

立南砂小第89号

令和7年2月5日

立川市教育委員会 殿

学 校 名 立川市立南砂小学校

校 長 名 國長 泰彦 印

令和7年度 特別支援教室の教育課程について (届)

このことについて、学校教育法施行規則第140条の規定に基づき、特別支援教室による指導の教育課程を下記のとおりお届けします。

1 特別支援教室の教育目標

- 「元気な子」を育成するために、学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲や態度を育む。
- ◎「考える子」を育成するために、自分の考えや思いをもち、表現する手だてを理解し、実践できる力を育む。
- 「思いやる子」を育成するために、自己肯定感を高め、自他ともに大切にする心情や態度を育む。
- 「がんばる子」を育成するために、自己実現を図ろうとする意欲を培い、地域・社会に貢献する心や主体的に考え実践する力を育む。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・児童一人一人の障害の特性や心理検査結果を踏まえ、保護者や関係機関等との連携し、個別指導計画を作成する。
- ・児童の発達段階や状態に応じた指導時間を設定する。
- ・児童の実態に合わせて個別指導・小集団指導等の指導形態を工夫する。
- ・在籍学級や保護者との連携を図り、共通理解のもとに指導を行う。

3 指導の重点

- ・自己評価する力を高めるために、児童の努力や進歩を認め、自己の変化に気付かせる指導を行う。
- ・学ぶ意欲を引き出すために、学びやすい教材や教具を工夫し、児童の得意な面からアプローチする。
- ・安心できる時間や場所となるよう、児童の自信や意欲につながる指導を行う。

4 その他の配慮事項

- ・在籍学級の授業観察を行い、学級における児童の実態把握を行う。
- ・在籍学級と児童について話し合い、指導の方向性を確認するとともに、個別指導計画を学期に一度見直す。
- ・家庭と連携し、児童の成果や課題について共通理解を図る。